



1 様々な制約の中で『太中スポーツフェスタ』完遂！

■6月17日(木)、体育祭の代替となる「太中スポーツフェスタ」が行われました。当初は、5月16日(日)に体育祭は実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い福岡県に緊急事態宣言が発出されたため、道半ばにして延期となり、練習も中断の状況となりました。その後、6月3日(木)に期日を設定しますが、緊急事態宣言の延長に伴いできない状況となりました。「中止」の選択もありましたが、5月の練習期間にリハーサルまで行っており、3年生を中心に取り組んだ「チーム太宰府」の確かな成長の過程がありましたので、太宰府市教育委員会やPTA役員会、学校運営協議会とも綿密な打合せを行い、内容と時間を縮減した「太中スポーツフェスタ」として行いました。開催に当たり、緊急事態宣言の状況下であるため保護者の皆さまの参観ができませんでしたことを再度お詫び申し上げます。当日は、前日の雨で開始の遅れが心配されましたが、実行委員をはじめ多くの生徒や教員で準備を行い、予定通りに開会することができました。短い時間ではありましたが、生徒の本気の姿、一体感のある行動、とびっきりの笑顔……素晴らしい半日となりました。

■そこで今回は、このスポーツフェスタをしっかりと牽引してくれた3年生リーダーの皆さんの振り返りを紹介します。



《実行委員長：3年4組》

◇半日という短い時間で、今までとは異なる体育祭になりましたが、スローガンの「盛瞬」のように多くの人が限られた時間を十分に楽しみ、盛り上がる事ができたのではないかと思います。そして、太中スポーツフェスタやそれまでの練習を通して「同じブロックの人との関係」や「協力することの大切さ」など、たくさん学ぶことがあったと思います。その学びをこれからの学校生活にも活かしていきましょう。

《赤ブロック長：3年1組》

◇私は太中スポーツフェスタを行うことができたことに感謝したいと思います。「いつあるのかわからない」「もしかしたらないかもしれない」と不安なこともたくさんありましたが、先生方や実行委員のおかげで無事に行事を成功させることができました。そして、スポーツフェスタはたった半日しかありませんでしたが、競技を最後までやり遂げる姿や仲間を全力で応援する姿にやっぱり太宰府中学生は団結力と底力がすごいと改めて感じました。最後に、これからの生活はスポーツフェスタで培った横と縦の関係を大切にしながら学校生活を盛り上げていきましょう。



《青ブロック長：3年3組》

◇私は今回のスポーツフェスタで、最後まであきらめずに挑み続けることの大切さを学びました。今回のスポーツフェスタは、2回の延期を経て行われた行事です。みんなの気持ちも下がることもありましたが、しかし、たくさんのリーダーを中心に全員が協力したおかげで、思い出深い行事にすることができました。同じブロックだけでなく、他のブロックとも協力することで学校全体の団結力が上がりました。体育祭が延期になって、いつ行われるかなどの不安もありましたが、「絶対に体育祭をする」という強い気持ちで最後まであきらめず、多くのことに挑戦してきたことで、スポーツフェスタという形ではありましたが、体育祭を開催することができて本当に嬉しかったです。これからも多くの行事があると思いますが、1つ1つを全力で楽しんでいきましょう。



《黄ブロックリーダー：3年4組》

◇私は今回のスポーツフェスタを通して、感謝することの大切さを学びました。スポーツフェスタができたことやたくさんの計画をしてくださった先生方に感謝しています。このような時世だからできた経験でしたが、その中で何をするにも必ず誰かの支えがあるからできることを忘れず、生活していきます。約一ヶ月半みなさんありがとうございました。

《黄ブロックリーダー：3年4組》

◇私は今回の太中スポーツフェスタでリーダーとして、みんなを上手にまとめることを頑張りました。上手にまとめられないこともありましたが、ブロック長などに支えてもらいながら頑張れました。私はこの経験を今後の学校生活に活かしていき、積極的に自ら行動し、誰かのためになることをたくさんしていきたいと思いました。ありがとうございました。





盛瞬

- 熱く燃えろ 輝け青春 -



■当日、「太中スポーツフェスタ」の運営にご協力いただきましたPTA役員の皆さま、審査をお願いしました学校運営協議会委員の皆さま、ありがとうございました。また、動画撮影にご協力いただきましたおやじの会の皆さま、その後の編集までご協力いただき大変ありがとうございました。

■なお、編集いただきました動画は、保護者の皆さまにも学校HPからご覧頂けるように準備しております。期日が明確になりましたら改めてご案内いたします。

2

2年生「職業実践講座」を実施しました

■太宰府中学校では、正しい職業観を身につけ、自分の将来や働くことへの関心を高めると共に、主体的に進路選択できる力を身につけさせようと総合的な学習の時間に「キャリア教育(進路学習)」を行っています。その一環として、例年2年生は地域の事業所へ出向き、職場体験をさせていただいていました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、本年度も実施は難しいと判断し、今年は、学校に事業所の方をお招きし、「職業実践講座」を実施しました。

■当日は、歯科医、薬剤師、保育士、警察官、美容師、整体師、写真業、自衛隊、銀行員と実に様々な職業の方々にお集まりいただき、日頃行っている業務内容や苦労話、やりがい、中学生に向けたメッセージ等をお話いただきました。また、実際に使っている器具等をご持参いただき、生徒に貴重な体験させていただいたコースもありました。ご協力いただいた事業所の皆様、ありがとうございました。



3

7月は同和問題啓発強調月間です

■福岡県では、同和問題の早期解決をめざして、毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、差別をなくす取り組みをしています。

■太宰府市では、人権のまちだざいふの実現をめざして、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題について児童・生徒に身近に感じてもらうために、市内の小・中・高等学校等に呼びかけて人権作品(作文、ポスター、標語)を募集しています。毎年、生徒達が取り組んだ作品には、私たち大人が「人権」について考え、どう行動していくかを静かに問いかける、心あたたまるメッセージがちりばめられています。

■本校でも、人権作品に取り組み、制作を通して改めて「人権」について考える機会を持ちたいと考えています。また学校の教育活動の中でも、特設の人権学習や道徳等の授業を通して、今後も生徒のさらなる人権意識の向上をめざし、取り組んで参ります。

